

国際高麗学会日本支部学会誌『コリアン・スタディーズ』 投稿規定

1. 投稿資格

国際高麗学会日本支部は、学会誌『コリアン・スタディーズ』を年1回発行する。掲載される原稿は、朝鮮半島および朝鮮民族に関するあらゆる分野の学術的な論文、研究ノート、書評論文、キルチャビ、書評である。論文、研究ノートについては、国際高麗学会日本支部会員は自由に投稿できる。投稿については、寄稿規定並びに執筆規定を熟読すること。ただし、当該年度までの会費納入を要する。投稿論文は常時受け付ける。また、編集委員会で企画する特集については、非会員にも寄稿を依頼することがある。

2. 各論文の種別

- a. 論考：編集委員会で決定した特集テーマにより、編集委員会からの依頼によって執筆されたもの。
- b. 投稿論文：研究の対象・方法あるいは結果に独創性や新規性を有し、既存の研究・学術知に対し新たな知見を示し、「コリア学」の発展に期するもの。掲載にあたっては査読を要する。なお、査読の結果、「研究ノート」としての掲載を求められることがある。
- c. 研究ノート：研究の中間報告の水準であるもの。あるいは、独自の学術研究、調査、事例などをまとめたもの。掲載にあたっては査読を要する。
- d. キルチャビ：独自の学術研究、調査、事例などをまとめ、独創性、有用性などから会員が広く関心を持つと思われるもの。
- e. 寄稿：上記に含まれないが、編集委員会が掲載を認めたもの。

3. 投稿条件

投稿される原稿は、未発表の書き下ろし原稿のみとする。同一原稿を『コリアン・スタディーズ』以外に同時に投稿することはできない。

4. 審査

寄稿された原稿を掲載するか否かは、別途定める査読規定に基づいて編集委員会で審査の上決定する。

5. 使用言語

本文は日本語のみとし、注および参照文献に限り外国語を使用できる。要旨およびキーワードは日本語および英語とする。

6. 枚数

原稿枚数は400字詰め原稿用紙換算で50枚以内とし、本文(タイトル、氏名含む)、注、参照文献、図表を含めたものとする。論文には、日本語要旨、英語要旨およびキーワード(日本語および英語)を付けることとする。ただし、いずれも枚数には含まない。枚数を超過した場合、審査対象としないこともあるので、下記を確認すること。

論文 50枚以内+日本語要旨(400~800字)、英語要旨(800~1000語)+キーワード(日本語および英語)

研究ノート 50枚以内

キルチャビ 20枚以内

書評 5~15枚

7. 投稿形式

投稿は原則として電子文書とし、マイクロソフト・ワード形式かリッチテキスト形式で作成したものを投稿規定10にある提出先のE-mailアドレスに送付すること。図表や写真は可能な限り本文中に挿入すること。マイクロソフト・ワード形式かリッチテキスト形式以外での提出については、投稿規定10にある問い合わせ先に連絡すること。必要に応じて印刷された原稿の郵送を求めることがある。

8. 校正

校正は原則として著者校正のみで、内容のみならず、投稿規定および執筆規定に則った形式に訂正することも校正作業に含まれる。審査により採用決定となった後に行われる初校段階での誤植以外の修正は原則として認めない。なお、再校は初校段階の訂正を確認するだけの作業となる。

9. 原稿の保管

投稿原稿の保管や取り扱いについては編集委員会が責任を負う。

10. 提出先および問い合わせ

投稿原稿の提出および問い合わせ先は以下のとおり。

国際高麗学会 日本支部事務局 E-mail isksj@isks.org

また、執筆申込書、執筆規定等は以下に掲載する。

『コリアン・スタディーズ』Webサイト：<https://isks.org/japan/koreanstudies>

11. 著作権

投稿された原稿の著作権は国際高麗学会日本支部に所属するが、原著者が『コリアン・

スタディーズ』に掲載された当該論文を自著作の単行本や論文集に再掲載することは妨げない。

1 2. オンラインでの公開について

『コリアンスタディーズ』は、学会ホームページ (<https://isks.org/japan/koreanstudies>) 上でオープンアクセスにて公開する。執筆者は、そのことを承諾のうえで投稿すること。

(2022年6月2日)